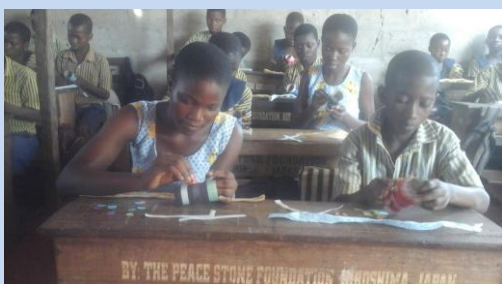


ガーナでお絵描き
くれよん プロジェクト 55号

子どもと関わる中で、どこにいても、どんな子どもであっても、自分の手から作品が作りだせる喜びを感じてほしいなという想いは常にあります。学童保育所の指導員をしていた頃は、フィルムケースでの工作、ペットボトルでの工作、布を使ってポケットティッシュケース作り、ヘンプを使ったミサマガ作り、雨が降った日の定番の工作では、プラ板がありました。あんなことこんなこと、いろんな事を、ここガーナでもしたいな。そう思いながらも現実には日本のようにうまく進みません。そうした中、一番多く活用する工作材料にトイレットペーパーの芯があります。前回おこなった“ファニーフェイス”に続き、今回もトイレットペーパーの芯を使い“こいのぼり”を作りました。“こいのぼり”は、日本の文化として、日本の空に大きく泳ぐこいのぼりの時期に紹介し、これまでもジャンボこいのぼり作りやフェルトでこいのぼりのマスコット作り、折り紙でこいのぼり等いろいろと取り組んできました。ジャンボこいのぼりは、布に生徒の手形を鯉のうろこ代わりにペイントを施して制作を楽しみました。ペイントに使用したのは、スクールガッシュです。発色の良いスクールガッシュに、生徒は手に塗る色を何色にするか？嬉しそうに悩んでいた

のを今でも覚えていきます。今回のこいのぼりは、トイレットペーパーの芯にスクールガッシュで色付けしたものを予め私が用意したものに色画用紙でうろこをつけ、目になるボタンをつけるという簡単工作でしたが、作っている時の子どもたちの顔は、とても嬉しそうでした。



今回取り組みをしたのは、6年生28名です。

報告日 2018年6月13日 TOSHIKO



協賛 ペンてる株式会社様(スクールガッシュ)

